

ものれ〜る 56号



平成 27 年 4 月 1 日発行

ご意見・ご感想をお寄せください。

発行 武蔵村山市都市整備部多摩都市モノレール推進担当

Tel 042-565-1111(内線 272)/Fax 042-566-4493/E-mail tamamono@city.musashimurayama.lg.jp

東京都（平成27年3月）

広域交通ネットワーク計画について

《交通政策審議会答申に向けた検討の中間まとめ》が、発表されました。

国は、平成 12 年の運輸政策審議会答申第 18 号（以下「現答申」という。）における目標年次（平成 27 年）が近づいていることから、平成 26 年 4 月に交通政策審議会へ「東京圏における今後の都市鉄道のあり方について」を諮問しており、平成 27 年度中に審議会答申（以下「次期答申」という。）が取りまとめられる予定です。

都においても、次期答申に向け、平成 26 年 5 月に学識経験者等で構成する委員会を設置し、都における今後の鉄道ネットワークのあり方等について調査検討を進めていました。この中で路線の効果等についての調査が進捗したことから、現答申の未着手路線（A2 路線及び B 路線）を中心に現時点での検討状況がとりまとめられました。

モノレール延伸に向けて大きく

前進

現答申で A2 または B とされていた路線は、多摩都市モノレール上北台方面延伸を含めて、21 路線あります。この中から、「整備効果が高い」と認められました。

中間のまとめでは、次の 5 路線が「整備効果が高い路線」とされました。

- ① 東京 8 号線（有楽町線）延伸（豊洲～住吉）
- ② 東京 12 号線（大江戸線）延伸（光が丘～大泉学園町）
- ③ 多摩都市モノレール延伸（箱根ヶ崎方面）
- ④ 多摩都市モノレール延伸（町田方面）
- ⑤ JR 東日本 羽田アクセス線

多摩都市モノレール箱根ヶ崎方面延伸についての整備効果としては「開業区間と一体となって、多摩地域の南北方向を中心とした拠点間の連携強化に資する路線である。また、多摩地域において、鉄道利用が必ずしも便利でない地域内を結ぶことで、沿線の利便性の向上が図られるとともに、多摩地域の活力の向上につながる」とされています。

ただし、今後の課題として「将来の輸送需要動向を十分に見極める必要がある。」とされています。

今後、次期答申の全体像や具体的な路線に関する議論等、交通政策審議会における検討状況を見ながら、都の考え方を取りまとめ、国に提出する予定とされています。



*詳しくは、東京都のホームページをご覧ください（「中間のまとめ」もご覧になれます。）。

<http://www.metro.tokyo.jp/INET/KEIKAKU/2015/03/70p36100.htm>

モノレール募金 & 基金

募金箱の設置場所が増えました

1月から、独立行政法人国立病院機構「村山医療センター」に、募金箱を設置しました。

これは、村山医療センターの院長から、「村山医療センターは、武蔵村山市学園にあり、昭和の時代から骨運動器の専門病院として機能してきました。ところが交通のアクセスが非常に悪く、患者さんにいつもつらい思いをさせており、はなはだ心苦しい次第であります。かねてよりモノレールが延長されれば、通院、入院患者さんの負担軽減に役立つと思っておりました。」というお手紙をいただき、病院として、募金箱の設置、のぼり旗の掲出にご協力していただけることになったものです。



画：田口瑛子さん（医師）

募金箱の設置場所は、32施設37箇所になりました。
詳しい場所については、ホームページをご覧ください。

モノレール基金は **105,399,828円** に、なりました

(平成27年3月末現在 単位：円)

	基金積立額	基金利子額	募金額	物品売上額	ふるさと寄附金額	年度合計額	基金累計額
平成23年度	10,000,000	0	—	—	—	10,000,000	10,000,000
平成24年度	20,000,000	4,985	—	—	—	20,004,985	30,004,985
平成25年度	30,000,000	11,282	158,950	43,800	—	30,214,032	60,219,017
平成26年度	40,000,000	20,557	155,490	39,560	4,965,204	45,180,811	105,399,828
計	100,000,000	36,824	314,440	83,360	4,965,204	105,399,828	—

モノレール基金は、市の財源から毎年額を決め、平成32年度までに10億円を積み立てる計画になっています。また、市民等の皆様からお預かりしたモノレール募金、モノレールグッズ（シャープペン、クリアファイル、付箋紙）の売上収入、ふるさと寄附金（モノレール応援メニューに寄附をいただいた分）を合わせて積み立てています。積み立てられた基金は、モノレールの延伸に際して必要な出資金、公共施設の整備等の経費に充てられます。

延伸に向けた現状や課題については、パンフレット「みんなの願い！多摩都市モノレール延伸!!」をご覧ください。パンフレットは、都市計画課窓口や市内公共施設においてあるほか、市ホームページからダウンロードできます。

